

製品名: HMGB1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe03744

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa

抗原情報

遺伝子名	HMGB1
別名	HMGB1; HMG1; High mobility group protein B1; High mobility group protein 1; HMG-1
遺伝子 ID	3146
SwissProt ID	P09429
免疫原	ヒト HMGB1 の合成ペプチド

背景

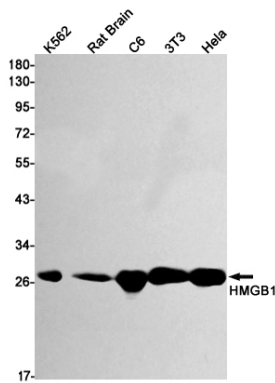
高移動度群 (HMG) タンパク質 1 および 2 は、クロマチンのヒストン以外の普遍的な構成要素です。HMG タンパク質が DNA に結合

すると、DNAの曲がりやらせん構造の巻き戻しなど、DNA構造の変化が誘導されることが示唆されています。HMGタンパク質は、Oct-2、NFκBファミリーのメンバー、ATF-2、c-Junと相乗的に作用し、転写を活性化します。

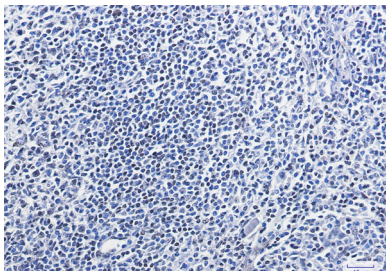
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HMGB1抗体を使用したK562、ラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のHMGB1のウェスタンブロット分析。



HMGB1抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。